

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アクシーズ

コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々倉 豊

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長

(氏名) 伊地知 高正

TEL 099-223-7385

四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	8,009	4.0	415	7.8	466	4.4	287	0.6
23年6月期第2四半期	7,704	2.2	385	24.3	447	20.5	285	23.4

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 288百万円 (0.5%) 23年6月期第2四半期 286百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	51.18	—
23年6月期第2四半期	50.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	8,933	6,022	67.4	1,072.30
23年6月期	8,382	5,804	69.2	1,033.49

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 6,022百万円 23年6月期 5,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	12.50	12.50
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,619	0.2	628	3.7	742	3.1	445	5.2	79.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期2Q	5,617,500 株	23年6月期	5,617,500 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	1,440 株	23年6月期	1,440 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期2Q	5,616,060 株	23年6月期2Q	5,616,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取扱法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報	２
（１）連結経営成績に関する定性的情報	２
（２）連結財政状態に関する定性的情報	２
（３）連結業績予想に関する定性的情報	３
２．サマリー情報（その他）に関する事項	３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	３
（４）追加情報	３
３．四半期連結財務諸表	４
（１）四半期連結貸借対照表	４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	６
四半期連結損益計算書	
第２四半期連結累計期間	６
四半期連結包括利益計算書	
第２四半期連結累計期間	７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	８
（４）継続企業の前提に関する注記	９
（５）セグメント情報等	９
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	９

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し、回復がみられるようになりました。しかしながら、欧州経済の金融不安や米国経済の景気回復懸念等に伴う円高の進行や株価低迷の長期化等、金融情勢は不安定さが増し今後の景気先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社グループは、主力である鶏肉関連事業において、燃料価格の高騰によるコストアップ要因があったものの、高品質の鶏肉を安定的かつ継続的に供給するために、更なるブロイラー生産体制の効率化を追求してまいりました。今後も当社独自の鶏舎環境制御方法等による生産管理技術を高め、更なる事業運営基盤の強化を目指し業績向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は80億９百万円（前年同四半期比4.0％増）と増収となり、営業利益４億15百万円（同7.8％増）、経常利益４億66百万円（同4.4％増）となり、四半期純利益は２億87百万円（同0.6％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①鶏肉関連

当社グループの柱である当該事業は、管理体制の細部に注力したことにより、ブロイラー飼育の生産性が向上いたしました。その結果、鶏肉の製造量が増加し、当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」の拡販につながったことを主因に、売上高は62億74百万円（前年同四半期比4.4％増）と増収となり、セグメント利益は２億56百万円（同15.5％増）と増益になりました。

②外食

KFC店舗のキャンペーンが好調であったことに加え、積極的なポスティングが奏功しPH店舗の売上も堅調に推移しました。さらに、第１四半期連結累計期間で新規出店した店舗（ケンタッキーフライドチキン１店舗）も店舗収益に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は17億35百万円（前年同四半期比2.5％増）、セグメント利益は１億57百万円（同2.6％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第２四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ５億50百万円増加し、89億33百万円となりました。これは主に現金及び預金が４億78百万円、受取手形及び売掛金が３億34百万円増加したものの、投資その他の資産が１億31百万円、有形固定資産が92百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ３億32百万円増加し、29億11百万円となりました。これは主に未払金が２億26百万円、買掛金が１億30百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ２億17百万円増加し、60億22百万円となりました。これは主に利益剰余金が２億17百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フロー等の状況に関する分析

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、16億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して５億28百万円増加いたしました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金収支は、５億11百万円の資金増加（前年同四半期は５億68百万円の資金増加）となりました。これは売上債権の増加３億34百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益を４億65百万円、減価償却費を１億33百万円それぞれ計上し、またその他の流動負債が２億91百万円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金収支は、１億37百万円の資金増加（前年同四半期は２億96百万円の資金減少）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入が１億52百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金収支は、１億20百万円の資金減少（前年同四半期は１億25百万円の資金減少）となりました。これは、長期借入金の約定返済による支出が50百万円と配当金の支払額が70百万円あったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成23年８月５日に公表しました業績予想と変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,199,464	1,677,790
受取手形及び売掛金	1,050,333	1,385,128
製品	162,788	184,245
仕掛品	234,128	195,827
原材料及び貯蔵品	557,545	571,809
その他	310,008	282,522
貸倒引当金	△431	△950
流動資産合計	3,513,837	4,296,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	396,747	365,120
工具、器具及び備品（純額）	506,069	448,477
土地	2,763,632	2,764,632
その他（純額）	49,529	45,092
有形固定資産合計	3,715,979	3,623,321
無形固定資産	54,155	46,434
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,104,034	971,625
貸倒引当金	△5,070	△3,867
投資その他の資産合計	1,098,964	967,758
固定資産合計	4,869,098	4,637,515
資産合計	8,382,935	8,933,889
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,810	494,897
1年内返済予定の長期借入金	91,000	64,750
未払金	869,119	1,095,157
未払法人税等	165,868	170,379
その他	78,071	143,890
流動負債合計	1,568,869	1,969,074
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	24,250	—
退職給付引当金	187,640	184,542
役員退職慰労引当金	96,349	101,831
その他	201,908	156,559
固定負債合計	1,009,949	942,733
負債合計	2,578,818	2,911,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,885,168	5,102,402
自己株式	△1,087	△1,087
株主資本合計	5,764,791	5,982,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,325	40,055
その他の包括利益累計額合計	39,325	40,055
純資産合計	5,804,117	6,022,081
負債純資産合計	8,382,935	8,933,889

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	7,704,329	8,009,660
売上原価	5,220,210	5,487,636
売上総利益	2,484,118	2,522,024
販売費及び一般管理費	2,098,666	2,106,530
営業利益	385,451	415,493
営業外収益		
受取利息	3,096	1,528
受取配当金	1,966	1,212
持分法による投資利益	51,115	45,828
その他	13,934	19,640
営業外収益合計	70,113	68,208
営業外費用		
支払利息	5,289	4,433
為替差損	2,497	10,681
その他	568	1,903
営業外費用合計	8,354	17,019
経常利益	447,210	466,682
特別利益		
固定資産売却益	9,193	—
収用補償金	92,108	—
特別利益合計	101,302	—
特別損失		
固定資産除却損	297	686
固定資産圧縮損	85,936	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	—
特別損失合計	107,580	686
税金等調整前四半期純利益	440,932	465,996
法人税、住民税及び事業税	151,053	168,151
法人税等調整額	4,118	10,409
法人税等合計	155,172	178,561
少数株主損益調整前四半期純利益	285,760	287,435
四半期純利益	285,760	287,435

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	285,760	287,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,019	729
繰延ヘッジ損益	5,044	—
その他の包括利益合計	1,025	729
四半期包括利益	286,785	288,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,785	288,164

(３) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	440,932	465,996
減価償却費	177,064	133,973
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△37,598	△3,098
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5,727	5,481
受取利息及び受取配当金	△5,062	△2,740
支払利息	5,289	4,433
持分法による投資損益（△は益）	△51,115	△45,828
固定資産圧縮損	85,936	—
収用補償金	△92,108	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	—
売上債権の増減額（△は増加）	△237,523	△334,795
たな卸資産の増減額（△は増加）	128,659	2,580
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△72,851	15,434
仕入債務の増減額（△は減少）	81,407	130,086
その他の流動負債の増減額（△は減少）	207,941	291,502
その他	△17,356	△17,051
小計	629,233	645,975
利息及び配当金の受取額	5,062	2,740
利息の支払額	△5,267	△4,390
その他の収入	11,441	19,640
その他の支出	△568	△1,154
法人税等の還付額	—	7,610
法人税等の支払額	△71,436	△158,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,466	511,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	220,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△93,709	△39,338
無形固定資産の取得による支出	△3,356	△2,994
貸付けによる支出	△332,876	△21,500
貸付金の回収による収入	78,500	152,200
敷金及び保証金の差入による支出	△2,718	△1,714
その他	8,007	542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,151	137,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,500	△50,500
自己株式の取得による支出	△52	—
配当金の支払額	△70,124	△70,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,677	△120,657
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	146,637	528,326
現金及び現金同等物の期首残高	531,299	1,099,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	677,936	1,627,790

(４) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(５) セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年７月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) １	四半期連結損益 計算書計上額 (注) ２
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,010,781	1,693,547	7,704,329	—	7,704,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	294	—	294	△294	—
計	6,011,075	1,693,547	7,704,623	△294	7,704,329
セグメント利益	221,976	161,713	383,690	1,761	385,451

(注) １．セグメント利益の調整額1,761千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年７月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) １	四半期連結損益 計算書計上額 (注) ２
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,274,135	1,735,525	8,009,660	—	8,009,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	147	—	147	△147	—
計	6,274,282	1,735,525	8,009,807	△147	8,009,660
セグメント利益	256,332	157,566	413,899	1,594	415,493

(注) １．セグメント利益の調整額1,594千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(６) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。